

平成 28 年度入学試験問題

総合問題 2

(90 分)

【注意事項】

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この問題冊子の最終ページは、12 ページです。試験中に落丁・乱丁や印刷の不鮮明な箇所などに気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせて下さい。
3. 解答用紙 4 枚と下書き用紙 3 枚を配付していますので、確認して下さい。
4. 解答は必ず解答用紙に記入して下さい。解答用紙以外に記入したものは無効です。
5. 監督者の指示に従って、解答用紙の指定された欄に受験番号を記入して下さい。
6. 解答用紙にアルファベット、算用数字を記入する場合には、1 マスに 2 文字ずつ入れて下さい(ただし、字数が奇数の場合は、末尾の 1 文字は 1 マスに入れて下さい)。
7. 配付された問題冊子および下書き用紙は、試験終了後、持ち帰って下さい。

次の文章A～文章Eを読んで、問題1～問題12に答えなさい(なお、いずれの文章も、出題の都合上、必要な修正を加えた箇所がある)。

文章A

著作権の関係上、省略します。

著作権の関係上、省略します。

(Morgan Housel, "Measuring What Counts," *The Motley Fool*)

- (注) Bhutan : ブータン obsessed (with~) : ~のことばかり考えている
flawed : 欠陥がある preventable : 予防可能な
malpractice : 医療過誤 cleanup : 後始末
index variable : インデックス metric : 測定基準
corruption : 汚職 frustration : 欲求不満
justifiable : 正当と認められる fascinating : 非常に興味深い

文章B

著作権の関係上、省略します。

著作権の関係上、省略します。

(Richard Layard, *Happiness: Lessons from a New Science*)

(注) imaginary : 架空の norm : 基準 Gallup Poll : ギャラップ世論調査

文章C

著作権の関係上、省略します。

著作権の関係上、省略します。

(井手英策『日本財政 転換の指針』岩波新書)

* 政府に対する信頼度を国際比較するために行われた調査項目の一つ。

文章D

著作権の関係上、省略します。

著作権の関係上、省略します。

(阿部彩『弱者の居場所がない社会』講談社現代新書)

文章E

著作権の関係上、省略します。

(『徒然草』第二一七段)

(注) 徳：富，利得 所願無量：願いや欲求は無限にあること
宴飲：酒盛り，酒宴 声色：美声，美色
とこしなへに：永久に 癰・疽：いずれも悪性の腫れ物

問題 1 文章Aの下線部①はどうか、50字以内の日本語で説明しなさい。

問題 2 文章Aの下線部②の意味になるように、以下のa～hの語句を並びかえて最も適当な文を完成させなさい。解答は3番目と6番目に入る語句の記号のみを記入しなさい。なお、文頭の大文字小文字の区別は無視できるものとする。

1 2 3 4 5 6 7 8 ?

a : does

b : everyday needs

c : food, shelter, and clothing

d : for

e : how well

f : meet

g : your family's

h : your total household income

問題 3 文章Aの下線部③の意味になる英文を書きなさい。

問題 4 文章Bによれば、ハーヴァード大学の学生への調査等からどのような結論が導きだされるか、40字以内の日本語で説明しなさい。

問題 5 文章Bによれば、“Required real income and actual average real income”のグラフはどのようなことを意味しているか、40字以内の日本語で説明しなさい。

問題 6 次の文章は、文章Cの内容の一部を要約してある。文章中の空欄ア～オに入る最も適切な語句の組み合わせを以下のa～fの中から選び、記号で答えなさい。

人々の租税負担感を各国で調査したところ、北欧四か国では、痛税感は一ア。グラフに示すとおり、これらの国々では、対GDP比でみた税金・社会保険料の負担率がイことと、政府による行政サービスからの受益率がウことがわかる。日本では、税金・社会保険料の負担率はエことと、痛税感は一オことが注目される。

	ア	イ	ウ	エ	オ
a	高い	公平である	大きい	不公平である	低い
b	高い	変わらない	高い	変わらない	高い
c	低い	高い	高い	低い	高い
d	高い	高い	高い	低い	高い
e	低い	変わらない	大きい	変わらない	高い
f	低い	公平である	大きい	不公平である	低い

問題 7 文章Cの下線部④に関して、「社会の不幸」とはどういうことか。文中の「人間のニーズ」の内容を簡潔に示したうえで、160字以内で説明しなさい。

問題 8 文章Dの下線部⑤に関して、「社会的排除」とはどういうことか。筆者の視点が伝わるように、40字以内で説明しなさい。

問題 9 文章Dの下線部⑥に関して、「社会的包摂」はなぜ必要なのか。筆者が最も重要と考える理由を40字以内で説明しなさい。

問題10 文章Eについて、次の(1)~(3)に答えなさい。

- (1) 下線部⑦に関して、大福長者が「富める」状態と考えるのは、具体的にどのような状態のことを指すか、40字以内で説明しなさい。
- (2) 下線部⑧に関して、大福長者が「所願」を「悪念」と考えているのはなぜか、40字以内で説明しなさい。
- (3) 下線部⑨に関して、「大欲は無欲に似たり」とはどのようなことか。筆者の論理に即して、120字以内で説明しなさい。

問題11 今、あなたは X 円所持している。このうち、生活のために x 円支出し、残りのお金を貯金するものとする。支出金額が大きいほど(いろいろな物を手に入れるので)幸福だと考えられる一方、貯金額が大きいほど幸福だとも考えられる。そのため、「トータルの幸福度」は、生活のための支出額と貯金額の積で決まるものとしよう。このとき、

- (1) 「トータルの幸福度」を、 x と X を用いて表しなさい。
- (2) 「トータルの幸福度」を最大とする x を、 X を含む式で表しなさい。

少し違った状況を考えてみよう。やはり、今、あなたは X 円所持している。このうち、生活のために x 円、趣味のためにも x 円支出し、残りのお金を貯金するものとする。このとき、「トータルの幸福度」は、生活のための支出額と趣味のための支出額と貯金額の積で決まるものとしよう。このとき、

- (3) 「トータルの幸福度」を、 x 、 X を用いて表しなさい。
- (4) x を横軸、「トータルの幸福度」を縦軸に取り、 x と「トータルの幸福度」の関係を表すグラフを、 $0 \leq x \leq \frac{X}{2}$ の範囲で描きなさい。
- (5) 「トータルの幸福度」を最大とする x を、 X を含む式で表しなさい。

問題12 あなたが考える「幸福な社会」とは、どのような社会か。また、その社会を実現するために、どのようなことを実践すればよいか。文章A～文章Eを参考にして、あなたの考えをまとめ、その理由とともに400字以内で述べなさい。